

新型コロナウイルス感染症流行にともなう 2021 年度秋季入学試験の変更点（3）

2020 年 10 月 22 日

言語社会研究科

新型コロナウイルス感染症拡大の情勢を踏まえ、2021 年度秋季入学試験では、2020 年 9 月 17 日付と 2020 年 10 月 12 日付のお知らせに加え、以下のとおりの対応を行います。

1) 第 2 次（口述）試験の当日、検温を行います。間隔をあけて、順番に検温を受けてください。37.5 度以上の場合は当日の受験をご遠慮いただきます。その場合、代替措置を講ずる予定です。また、37.5 度未満の発熱や、咳・のどの痛み・下痢の症状がある場合には、試験会場の教室を変更する予定ですが、症状が重いと判断される場合などには、代替措置を講ずる予定です。

なお、事前に上記のような症状がある場合には、新型コロナウイルス感染症の可能性も否定できないことから、9 月 17 日付のお知らせの通り、代替措置の可否の検討を行います。速やかに（可能な限り試験当日の午前 9 時までに）メールにて言語社会研究科事務室に連絡してください。ただしこの場合には、当日の日付を含む医師の診断書を後ほどご提出下さい。

2) ご自身の面接試験が始まる 30 分前に国際研究館入口にお越しください。一旦検温が済んだ受験者には受験票に印を付けます。その後、控室（4 階大教室）に入り、口述試験が始まる 5 分前に控室を出て、試験会場の教室の前に移動していただきます。

3) 現在、国際研究館は空調施設の工事中で暖房が入りません。換気のために窓を開けたままで口述試験を実施します。防寒への対策をお願いいたします。

4) そのほかの留意事項については、9 月 18 日付の文書「新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る第 1 次試験（筆記試験）における受験上の留意事項について」をご確認ください。ただし、一部については、当日変更をお願いすることがあります。

<連絡先> 一橋大学大学院言語社会研究科事務室 (lan-km@ad.hit-u.ac.jp)